

従業員とともに

安全衛生は、始めから終わりまで全てに優先

労働安全衛生

あたり前の事を
確実にやり遂げる!!

当社の『安全衛生方針』は、経営トップの思いを定めた安全・衛生の姿です。この方針をもとに、労働災害ゼロの達成を目標としています。

労働安全活動の取り組み事例

標準作業の整備、トップ安全確認会、構内歩行帯の整備を活動の柱とし、本社工場は2010年より休業災害ゼロを継続しています。その成果もあり、無災害記録第2種を受賞しました。



本社工場の受賞(右)森安工場長

安全衛生方針

- 1 労働安全衛生法および、関係する諸法令と社内規則・基準を遵守し、災害の発生防止に努める
- 2 全災害未然防止を基本に、本質安全と従業員の意識向上を図り体質を強化する
- 3 衛生管理の充実と、全従業員の健康維持増進を図る

衛生活動の取り組み事例

大豊グループ全体で社員の健康管理活動が評価され、トヨタ関連部品健康保険組合主催の懇談会にて肥満対策事例を紹介・講演しました。



講演の様子(安全衛生推進部 副島すま子)

一人ひとりの個性と多様性を尊重

人財育成・雇用

当社では、グループ会社を含めた従業員が生き生きと働ける環境づくりを目指し、人事制度の充実に向け、適材適所での人財の配置・交流ができる仕組みづくりの構築と、会社の継続的発展を支える人財力向上に向け、教え・教えられる風土の醸成に向けた活動を推進しています。

●ワークライフバランスの実現

ワークライフバランスの取り組みとして労使で年休取得目標を設定しています。過去3年間で年休取得日数は増加しています。

また、労使協議の場で総労働時間削減の議論を行っています。



●人財を育てるための機会作り

人財とはスキル(知識、技術)を備えた上に価値観や考え方も備えた人であり、当社では、その人財が育つための機会(教育・環境)として、多くの教育・研修を実施しています。

